

平成 28 年度 新潟大学理学部自然環境科学科 課題研究発表

【口頭発表】 日時：2月14日（火）9：30～16：30

会場：理学部 B3 0 3

【ポスター発表】 日時：2月16日（木）10:00～15:30

会場：理学部 B2 0 1

コアタイム：10:00～11:00, 13:30～14:30 （奇数番号）

11:00～12:00, 14:30～15:30 （偶数番号）

口頭発表プログラム

9:30～9:40：開会の辞

1. 9:40～9:50：青木香奈「メダカアロザイム遺伝子座のゲノムマッピング」
  2. 9:50～10:00：荒井 翼「亜熱帯西部北太平洋における超微量元素 Bi の分布と亜熱帯モード水との関係」
  3. 10:00～10:10：梅田直輝「日本における台風にともなう降水量分布の特徴」
  4. 10:10～10:20：遠藤瑞季「新潟市に突風をもたらした総観場の解析ー2014年5月3日の事例についてー」
  5. 10:20～10:30：大越庄一朗「福島県における南岸低気圧による大雪の降雪特性」
  6. 10:30～10:40：鎌田夏帆「緑藻クラミドモナスにおけるオートファジー現象の電子顕微鏡解析」
- 10:40～10:55：休憩
7. 10:55～11:05：杵淵千香子「ヒマラヤ東部地域におけるデブリ氷河の氷河上湖の季節変動」
  8. 11:05～11:15：早乙女真穂「シロイヌナズナの黄化子葉細胞内に出現するリピッドボディを取り巻く膜状構造体の解析」
  9. 11:15～11:25：佐々木美鶴帆「スナビキソウの生活史特性と生育適地の環境要因の解明」
  10. 11:25～11:35：佐藤駿丞「水素負イオンの測定による水素解離度の決定」
  11. 11:35～11:45：竹腰彩乃「近年の日本の降雪分布と日本海海面水温の関係」
  12. 11:45～11:55：石田悠貴「北半球冬季における対流圏界面の変化傾向と経年変動」
- 11:55～13:00：昼休み
13. 13:00～13:10：竹前 直「由良川水系におけるキタノメダカとミナミメダカの交雑状況の解明」
  14. 13:10～13:20：田辺友真「緑藻に及ぼす N-ブチルシアノアクリレート微粒子の影響」
  15. 13:20～13:30：藤田 遥「2-ベンジルオキシナフタレンの光反応で生成するベンジルカチオン・ラジカルの特異的トラッピングを用いた光反応機構の検討」
  16. 13:30～13:40：本間由莉「成熟時期の異なるアカモク集団の遺伝的分化の解析」

17. 13:40～13:50：森 義孝「地下レーダー(GPR)を用いた雪氷体の地下構造 —反射特性の検証と応用—」

18. 13:50～14:00：横田和希「陰イオン交換体を錯生成と濃縮の場として用いるバナジウムの定量法開発」

14:00～14:15：休憩

19. 14:15～14:25：吉田聖良「海水中 Te 化学種の分析法開発に向けた陽イオン交換樹脂カラム分離法の検討」

20. 14:25～14:35：渡邊円花「ミズヒキの生育段階が防衛機構に与える影響及び個体群動態の解明」

21. 14:35～14:45：渡邊 和「真骨類の鰾形成に関与する遺伝子のゲノム進化」

22. 14:45～14:55：熊木文俊「水分子の二価イオン状態の解離ダイナミクス」

23. 14:55～15:05：桑原美祐「硝酸セリウム(III)とビスL-プロリナトニッケル(II)を用いた異核多核錯体の合成」

24. 15:05～15:15：佐藤洋太「越後平野西縁, 弥彦山西麓における巨大地すべり地形の地質学的検証」

15:15～15:30：休憩

25. 15:30～15:40：松井翔太「背鰭のないインドメダカの発生遺伝学的解析」

26. 15:40～15:50：六原直哉「シクロデキストリンポリマーを固相抽出剤として用いるビスフェノールAの定量」

27. 15:50～16:00：高玉秀之「差分干渉 SAR 解析を用いた中央アジア・天山山脈北部域における山岳永久凍土の空間分布」

28. 16:00～16:10：松原由奈「外洋海水中の Pb の簡便・低ブランク定量分析法の確立」

29. 16:10～16:20：長谷川翔「沖縄トラフにおける超微量元素 Bi の鉛直分布」

16:20～16:30：閉会の辞